



堀内田植え踊り保存会
伊藤千代喜さん(堀内)

しかし、少子化や堀内小学校の閉校に伴い、田植え踊りの伝承が難しくなっています。子どもや大人も、堀内の宝である田植え踊りを踊れるようになって、未来へと伝えていってほしいです。

私たちは、保存会のほか、青年団、若夫会など、地域の活動とおして堀内で育ち、暮らしてきました。

私が保存会に入ったのは、メンバーが高齢化し継続が難しいなどの課題があり、伝統を守るため力を借りたいと誘われたからです。入ったらずいに出演依頼が舞い込み、これまで町内外の催し物で披露してきました。

田植え踊りはもともと正月に堀内地区の各家を周り、土間や座敷などで披露されてきた伝統芸能で、昭和30年くらいまでは続いていたと先輩方からは聞いています。

堀内田植え踊り保存会は、堀内田植え踊りの保存と伝承を目的に活動していて、依頼があると積極的に出演しています。

踊り手の伊藤さん 堀内への思い

堀内田植え踊り保存会は、堀内田植え踊りの保存と伝承を目的に活動していて、依頼があると積極的に出演しています。



木島静江さん(洲崎)
に伺いました

堀内子ども田植え踊りはどのようにできましたか？

堀内子ども田植え踊り保存会を立ち上げた当時は、町教育委員会や堀内地区のみなさんの後押しもあり、児童たちへの田植え踊りの指導を決定しました。踊りは堀内田植え踊り保存会のみなさんから教わり、それを子どもたちが踊れるように少し簡単にしています。田植え踊りは、みなさんの堀内への愛があったからこそ、繋いでこれたのだと思います。

堀内田植え踊り 口上

ハイ 御免なされやお旦那様。四海波こそ静かにて国の治まる御祝、千秋万事まずもってめでとうござる。
かや 勝栗や御俵、重ね重ねの御祝、千秋万事まずもってめでとうござる。

この家の御旦那様には良き日に日取りをなされ、岡作、田作、上々作がまざるよう、千秋万事まずもってめでとうござる。
一枚の田で千刈る田とはあの田のことか、この田のことか。上の田下の田見渡し、千秋万事まずもってめでとうござる。
えんぶりすりの弥十郎、隅から隅まですり出す。投げればちゃんと立つごとく、千秋万事まずもってめでとうござる。

苗の取り手は白すね豊後。中田餅苗までもとって取り分け、足元そろえて
四隅にしっかりと、春のはじめに初田植え、いやまだまだ、
ハイドウオモセ

(提供 堀内田植え踊り保存会)



堀内小学校児童への指導風景

田植え踊りの思い出は？

一年生の子が、「大きくなったら田植え踊りが踊れるようにがんばるね」と言ってくれたこと、校外でもかけ寄つて「先生」と呼びかけてくれたことがありました。とても温かくうれしい気持ちがあふれ、今でも当時を思い出します。地元への誇りを胸に、自信を持って活躍してください。

<堀内田植え踊りの出演について>

ふながた若鮎まつり、芸能フェスティバル、最上地区民俗芸能フェスティバルなどに出演しています。歴史ある堀内田植え踊りをぜひご覧ください。

▼問い合わせ／

舟形町教育課社会教育係 ☎(32) 2 2 4 6

※堀内田植え踊り保存会の活動について



平成26年当時の堀内田植え踊り保存会のみなさん
(日本一さくらんぼ祭「民俗芸能のつどい」にて)



ふながたの「お宝」。舟形町のもの、人、場所などをシリーズで紹介します。第10弾は「堀内田植え踊り保存会」です。

発掘!
ふながたのお宝

五穀豊穡を願う
堀内田植え踊り

千秋万事まずもって めでとうござる

堀内田植え踊りは、堀内地区に伝わる伝統芸能です。昭和37年に舟形町指定文化財に指定されています。

踊り手4人または6人と歌い手2人、三味線、笛、太鼓、鉦の4人囃子からなり、踊り手は馬の毛と鉄の輪で作られた「テデ棒」を振りながら踊ります。衣装は田植えの服装で、法被にももひき、鉢巻き姿で履物は足袋に草履です。踊り手4人による口上の後、「正月」「四方かため」「あがりはか」の3曲を披露します。

最上川舟運の 水夫たちから伝承

堀内田植え踊りは200年以上前に最上川舟運の水夫たちから伝わったといわれています。当時は現在の様に陸路が発達しておらず、日本海から内陸へと続く最上川は重要な移動経路でした。最上川に面する堀内地区は舟の往来も多く、また新庄領内を流れる最上川の最上流部に位置するため、「川舟改所」という交通の関所が設けられていました。

受け継がれる 田植え踊り

昭和37年に「堀内田植え踊り保存会」が発足しましたが、昭和50年代に入ると踊り手や囃子の担い手が減少し、田植え踊りは消滅の危機にさらされます。これを受けて、当時、堀内小学校の教員として勤務していた木島静江さん(洲崎)



豊作の願いが込められた前掛け

堀内田植え踊りの特徴

踊り手がめでたい口上を述べる

動きが大きく、華やかな振付け

早乙女による優美な踊りが花を添える

らが昭和58年に「堀内子ども田植え踊り」を立ち上げ、堀内小学校の児童たちに堀内田植え踊りを伝承しました。その後も後継者たちにより活動は続けられていますが、令和2年以降は練習や出演を休止しています。